

幸せな社会

この春、
通いの場に出かけてみませんか？

- ② ③ 社協の事業計画と予算
- ④ 愛のふれあい交流事業 活動事例紹介
- ⑤ 地域貢献・社会貢献、冬休みワークキャンプ
- ⑥ 日常生活自立支援事業 生活支援員募集
- ⑦ 寄付報告、福祉センターからのお知らせ
- ⑧ ボランティア掲示板

社協では、市内のサロン・趣味活動などを行っている通いの場を訪問し、活動の様子をお便りにして皆様にご紹介しています。誌面では通いの場に関連する各種情報も掲載しています。『通いの場』訪問だよりは、社協 HP でご覧いただけます。

通いの場
活動紹介

特集記事

社協SC（生活支援コーディネーター）
『通いの場』訪問だより

けんこうくらぶ
体操で心も体もぽかぽかに 〓 カトレア健康倶楽部

カトレア健康倶楽部は、毎週木曜日に大麻西地区センターで活動している体操クラブです。代表の赤田さんが、元気アップサポーターや認知症



三密を避けて楽しく運動・交流 ウォーキング・お散歩特集

ボランティア団体みんなの
「歩いて健康 拾ってきれい
ゴミ拾いウォーキング」



7月15日に開催された「歩いて健康 拾ってきれい ゴミ拾いウォーキング」に参加させていただきました。主催したのは、北翔

会えない時もつながる～オンライン活用術～

気軽に外出することがなかなか難しくなったコロナ禍のなかで、オンラインの活用が一層注目されるようになりました。オンラインとはインターネットなどの通信ネットワークに接続している状態のこと。電波に乗せて文字や映像、音声などがつながった世界中の情報を得ることができます。電話や手書きのお手紙、メール、SNSなどがありますが、オンラインならではの特長には、動画も見たり送ったりできること、リアルタイムでやりとりが速いことなどがあり、生活や交流の幅が広がる可能性があります。

オンライン活用していますか？

している方も多いかもしれませんが、まだ、思い切ってやってみると意外と簡単で、使いこなせるようになるかもしれません。



役に立つ
情報

人気アプリ「LINE」に挑戦しよう！
方法、利用開始方法は、LINE 公式サイト



QRコードを読み取って
社協ホームページへ

発行

社会福祉法人 江別市社会福祉協議会

江別市錦町14番地87 江別市総合社会福祉センター内

☎ 011-385-1234 Fax 011-385-1236

ホームページ <http://www.ebetsu-shyakyo.jp>

メール Social-Welfare@ebetsu-shyakyo.jp

社協だより「幸せな社会」は、1月・4月・7月・10月に発行しています。

2023

4 月

No. 209

社協の事業計画と予算

事業推進方針

新型コロナウイルス感染症は、孤独・孤立や雇用の不安定などによる膨大な生活困窮者といった新たな課題を顕在化し、更には物価高騰の影響が市民生活に追い打ちをかけています。

令和2年3月よりコロナ禍の緊急事態に公の対策として実施された生活福祉資金（緊急小口資金・総合支援資金）特例貸付において、江別市社会福祉協議会（以下、「社協」という。）は延べ2,970件・10億円を超える未曾有の規模となった貸付申請・相談窓口業務を担い、生計維持の支援に努めてきました。

令和5年1月から前記特例貸付の償還が順次開始され、長期的な対応とするための職員体制の確保及び生活再建が進まない人に対しては、生活困窮者自立支援制度による相談支援が重要となっています。

また、外出機会や人との交流の制限が長期化していましたが、コロナ対策とともに経済活動や市民生活が変化していく中であって、様々な生活・福祉課題に対し、地域住民や地域の多様な主体が参画し、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく地域共生社会の実現に向けた取り組みが求められています。

社協においては、4年目を迎える第4期地域福祉実践計画（以下、「計画」という。）を基本に、市民、行政、関係機関・団体、ボランティアなどと連携・協働し、地域社会や福祉の動向を見極めながら各種事業に取り組み、計画の基本目標である『暮らしの安心を支える地域福祉』を目指し、地域福祉の推進を図ってまいります。

事業計画

第4期地域福祉実践計画の基本計画ごとに令和5年度実施事業の概要をご紹介します。

基本計画 1

地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援

広報活動による福祉情報の提供

▼社協だよりの発行、ホームページの運営

生活課題に対応した総合的な相談支援

▼くらしサポートセンターえべつ運営による生活困窮者への相談支援、中間的就労など相談者の適性を考慮した就労支援対策の充実

▼日常生活自立支援事業による福祉サービス利用援助や金銭管理をサポート

▼江別市成年後見支援センターの運営と法人後見事業の実施による成年後見制度の相談支援と総合的な権利擁護支援の実施、任意後見の実施に向けて関係機関と協議

基本計画 2

ボランティア活動で進める福祉の環境づくり

▼生活安定のための貸付金を活用した相談支援
▼ボランティアによる日常生活上の悩みごとへの相談支援
▼生活支援体制整備事業の実施による「通いの場」づくりへの相談支援と情報提供

市民がボランティア活動に積極的に取り組めるように支援し、地域福祉の担い手として活動する環境づくりを推進
▼ボランティアセンターの運営（ボランティアの登録・派遣・団体活動費助成・活動交通費補助・ボランティア保険の加入など）

▼江別市ボランティア団体連絡会の運営

研修事業などを通して、ボランティア活動を担う市民の育成・確保

▼ボランティア活動者研修の開催

▼傾聴ボランティアの育成（養成研修・スキルアップ研修の実施）

令和5年度社協イベント情報（予定）

- ▶ 江別ふれあい福祉の広場：7月16日（日）10時～ / 福祉センター及び周辺
ふれあいバザー、屋外セレモニー、社会福祉功労者顕彰、共同募金助成金交付式など実施予定

基本計画 3

市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進

高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らすことを目的とした自治会の助け合い活動を支援

▼愛のふれあい交流事業（活動費助成・ボランティア保険料助成など）

共同募金委員会との協働

▼江別市共同募金委員会事務局として共同募金運動を展開、生活困窮世帯に歳末見舞金品を贈呈

市民と福祉団体が交流できるイベントを開催

▼江別ふれあい福祉の広場の開催

企業・団体の地域貢献活動への支援

▼社会貢献活動や地域行事へ活動備品（テント・パネル・机・椅子など）を貸出

基本計画 4

体験学習、研修による福祉意識の醸成

市民が福祉に関心と理解を深めることを目的とした体験学習・研修を開催

▼地域福祉活動者研修会の開催

▼いきいきシニアスクールの開催

青少年に高齢者や障がい者と交流できる機会や活動体験のできる場を提供

▼ワークキャンプの開催

▼総合的な学習の時間へ福祉体験用具（車いす・アイマスク・高齢者疑似体験セットなど）の貸出や協力先紹介、職員派遣の実施



基本計画 5

自立した生活を支援する福祉サービスの提供

高齢者や障がい者が、冬期間安心して暮らせるように除雪サービスの実施と民間の雪処理情報を提供

▼福祉除雪サービスの実施

▼除雪派遣サービスの実施

▼えべつ雪の処理情報誌の発行

食事の支度が困難なひとり暮らし高齢者などへの配食

▼給食サービスの実施

障がいにより移動が困難な方の社会生活上必要な外出介助のためガイドヘルパーを派遣

▼移動支援事業所リフレエべつの運営

福祉機器の貸与

▼福祉機器貸与事業の実施

農村地域などの保育が必要な児童の子育てを支援

▼北光保育園の運営



基本計画 6

地域に信頼される社協運営のための組織づくり

組織のガバナンス強化や透明性の向上に努め、地域福祉の推進役としての役割を発揮し、市民から信頼されるよう運営

▼第4期江別市地域福祉計画（市計画）との連携・調整により事業を推進

▼自主財源の確保や経費の効率化などによる財源基盤の整備

▼合同部会で地域福祉実践計画を評価・計画の進行管理

▼地域の生活課題に関するアンケート調査を実施し、

次期実践計画策定に活用

▼総合社会福祉センターの管理運営

令和5年度資金収支予算書

(単位：千円)

サービス区分	令和5年度	令和4年度	比較増減
法人運営事業	89,988	92,006	△ 2,018
社会福祉基金運営事業	11,792	8,933	2,859
調査・研究事業	235	438	△ 203
広報事業	6,213	6,413	△ 200
顕彰事業	143	143	0
江別ふれあい福祉の広場事業	947	1,177	△ 230
ボランティアセンター事業	5,716	5,663	53
住民福祉推進事業	287	287	0
愛のふれあい交流事業	7,859	8,008	△ 149
給食サービス事業	37,380	42,718	△ 5,338
福祉除雪サービス事業	47,878	39,025	8,853
除雪派遣サービス事業	3,856	3,764	92
福祉機器貸与事業	502	511	△ 9
生活困窮者自立支援事業	809	802	7
生活支援体制整備事業	5,748	5,192	556
移動支援事業	5,529	5,306	223
成年後見支援事業	17,795	17,787	8
福祉サービス利用援助事業	952	805	147
共同募金配分金事業	4,362	4,745	△ 383
生活福祉資金貸付事業	9,004	12,399	△ 3,395
福祉金庫貸付事業	5,975	6,522	△ 547
総合社会福祉センター運営事業	30,530	28,561	1,969
北光保育園運営事業	26,464	26,267	197
野幌季節保育所運営事業	0	7,424	△ 7,424
内部取引相殺額	△ 9,541	△ 9,968	427
合計	310,423	314,928	△ 4,505

予算が増加した事業

総合社会福祉センター運営事業は、水道光熱費が上昇



福祉除雪サービス事業は、利用者増加を見込む



予算が減少した事業

給食サービス事業は、利用者減少を見込む



生活福祉資金貸付事業は、債権管理事務費が減少



予算

アフターコロナを見据え、実践計画を推進する予算

【愛のふれあい交流事業】 社協では自治会が行う福祉の助け合い活動を応援します。【愛のふれあい活動】ひとり暮らし高齢者などへの安否確認活動に年額1万円を助成、保険料助成。【地域交流の集い活動】高齢者などのために実施する交流事業へ1事業につき1万5千円(年5回まで)を助成、交通費助成、保険料助成。詳細は、社協 ☎ 385-1234

愛のふれあい交流事業 地域の活動事例を紹介します！



東光東自治会の住宅火災予防教室

社協が推進する「愛のふれあい交流事業」は、住み慣れた場所で馴染みの人達に囲まれながら、健康で安心して暮らすことを目的とした地域(自治会)での助け合い活動です。

毎年4月に各単位自治会へ実施マニュアルと助成金申請書類を郵送して事業のご案内をしています。令和4年度は71の自治会が取り組んでいます。

今号では、3つの自治会の取り組みをもとに、実施する際のおすすめポイントをご紹介します。

東光東自治会

交流の集い活動の際、積極的に**出前講座**を活用しています。これまで、地域包括支援センターの健康講話や江別警察署の防犯教室などを受講してきました。コロナ禍になってからは、敬老の日の集いと併せて開催するなど、地域住民同士の交流にも役立っています。

今年度は、新たに江別消防本部江別出張所職員の方を講師に迎え「住宅火災予防教室」を実施。日頃から報道を見て、火災の危険は身近なところにあると危機感を持っていた自治会役員が、暖房器具を使用する際の注意喚起にもなればと、冬季に合わせて企画しました。出前講座ならではのリアルな映像資料と講話に、改めて火災の恐ろしさを感じ、参加者の火災予防の意識が高まりました。

ポイント

出前講座の活用！
実施マニュアルには、各種出前講座を紹介するページがあります。ぜひ活用ください。

中央町自治会



お買い物ツアーの場面

中央町自治会では、**愛のふれあい交流事業助成金(バス等借上助成)**を活用してタクシートの運賃に充て、長い距離を歩くことが難しい方も地域交流の集い活動に参加しやすいよう、会場までの移動をサポートしています。

昨年12月末には地域交流の集い活動のなかで「お買い物ツアー」を企画しました。町内の民生委員から買い物に困っている方が多いとの情報を受け、高齢でひとり暮らしの方を対象に参加者を募集。当日は、自治会役員と民生委員がタクシード参加希望者宅を順に回り、乗り合いにより大型スーパーまで移動

し、年越しに向けた買い出しを含めた買い物を支援しました。久しぶりの買い物だったという方もいて、「楽しかった」と多くの笑顔が見られ好評でした。

ポイント

バス等借上助成金の活用！
民間バスを利用する場合だけでなく、タクシー運賃の助成としても利用できます。助成金内容の詳細は社協に確認下さい。

大麻北栄自治会

大麻北栄自治会では、「北栄ふれあいの集い」として、ひとり暮らしの高齢者を対象に「冬の防災安心プラン」事業を実施しました。冬期間に停電や断水の発生を想定し、物品や食料について各家庭で備えておくべきものを話し合いました。

また、**災害時には安否確認をどのように行うか**が課題となります。大麻北栄自治会では自治会役員・民生委員・ボランティアといった

役割分担を定め、緊急時の「支え合い連絡網」を整備しました。

コロナウイルス対策として、人と人との接触機会をどのように減らして運営していくかを悩みながらの開催となりましたが、参加者の関心が高かった様子が伺えたところです。

ポイント

防災の備え！

災害発生時の役割分担を整理しておく、誰がどう動き何が必要なのかを把握しあい、災害時の避難を想定しておくことができます。



自治会役員が防災のポイントを説明

愛のふれあい交流事業のお問合せは、地域福祉係

☎ 3805・1234



社協は「地域に貢献したい」の 架け橋 になります！

① 清涼飲料水のクリスマスプレゼント

北海道コカ・コーラ(株)様からコカコーラ製品を寄贈いただき、市内9福祉施設へお届けしました。

② ボランティア事業へ助成

北海道信用金庫ひまわり財団様から「社協のボランティア事業へ」と10万円の助成金交付がありました。

③ 食料品の寄贈

角山開発(株)様から食料品を寄贈いただきました。緊急時の食料支援に活用します。

④ 高齢者宅の除雪ボランティア

江別建設業協会様が地域貢献活動として高齢者宅17世帯の除雪作業を行いました。



冬休みワークキャンプ開催しました

令和5年1月12日



特別養護老人ホーム 静苑ホーム

実際に福祉の現場を見て、知って、感じていただく機会として、1月12日(木)に特別養護老人ホーム静苑ホームにて冬休みワークキャンプを開催いたしました。

当日は、江別高等学校の生徒2名、とわの森三愛高等学校の生徒1名が参加しました。感染対策を行いながら、施設内を見学したり、高齢者・障がい者の疑似体験を行いました。また、実際に施設利用者がいただいている様々な形態の食事を試食する体験も行いました。

参加した学生からは、「介護を必要としている人たちは、不自由なことがたくさんあることを実感し、また、それを手助けする介護関係の方たちが大変なことたくさんある中で、お仕事されていることがとてもすごいことだなと思いました。」「食事について、栄養面と食べやすさの両立が出来ていて、特に作り方に凄さを実感しました。」等の感想がありました。



疑似体験装具を装着して、日常生活動作を疑似的に体験することにより、加齢による身体的な変化を学ぶことができます。

日常生活自立支援事業「生活支援員」を募集します！

○日常生活自立支援事業とは…

「日常生活自立支援事業」では、福祉サービス利用の手続きや、生活費の管理、年金証書などの大切な書類の預かり等のお手伝いをしています。

ご利用いただけるのは、高齢や障がいにより日常生活の判断に不安がある、在宅で生活している方です。

○生活支援員とは…

利用者が地域で安心して生活できるよう、お手伝いしていただく活動を行います。資格などは特に必要ありません。社協職員（自立生活支援専門員）が活動の支援をいたします。

○サービス内容

- (1) 福祉サービスの利用援助（基本事業）
福祉サービスの情報提供や利用の手続きをお手伝いします
- (2) 日常的金銭管理サービス（オプション）
日常的な金銭の払い出しや支払い等のお手伝いをします
- (3) 書類等の預かりサービス（オプション）
金融機関の貸金庫に大切な書類等を保管します



○生活支援員の役割は…

利用者と自立生活支援専門員にて作成する生活支援計画にもとづき、月に1～2回程度訪問し、預貯金の払い出しや支払い、体調確認等の支援を行います。支援終了後は、支援内容や、利用者から受けた相談等について、自立生活支援専門員に報告します。

○生活支援員の募集基準

- ①社会福祉に関する基本的な知識と経験を持っていること
- ②生活を支援する業務に熱意を持っていること
- ③利用者のニーズに応じた時間に活動が可能であること



○報酬等

生活支援員として活動いただいた場合、1回1時間当たり950円と交通費（公共交通機関利用は実費、自家用車は一律300円、徒歩・自転車の場合はなし）が支給されます。

また、活動する生活支援員が、支援の中で傷害事故に遭った場合や利用者に対して損害を与えた場合を考慮して保険に加入します。



○募集・登録について等のお問い合わせ先

江別市社会福祉協議会 権利擁護係

江別市錦町14-87 江別市総合社会福祉センター内

電話（011）385-1234

江別の皆様とともに 地域の発展に貢献します

EPA 江別印刷業協同組合

事務局 〒067-0031 江別市元町32番地2 笹岡印刷㈱内
TEL・FAX (011) 389-6730

組合員	(有)ア・ノ研究社	笹岡印刷(株)	(株)のっぽろ印刷
	(有)トラスティプリント	藤塗装工業(株)	(有)山田印章印刷
	アスカ印刷	〈賛助会員〉(有)くらしの新聞社	

損害保険・生命保険代理業

地域に密着した保険専門店
Employee Satisfaction
保険サービス・ジャパンエージェンシー

保険の無料相談実施中

【営業時間】平日9:00～18:00
定休日 土曜日・日曜日・祝日

商号：有限会社イー・エス・オフィス
〒069-0824 江別市東野幌本町19番地の1

0120-74-0433

社協の相談支援事業 ●生活安定のための貸付金を活用した相談支援（地域福祉係 ☎385-1234）

●経済的困窮・失業・引きこもりなど生活上の悩みを抱えている方の相談支援（くらしサポートセンターえべつ ☎375-8987）

●成年後見制度利用の相談や申立手続支援など（江別市成年後見支援センター ☎375-8988）

ボランティアによる悩みごとと電話相談

社協登録ボランティア団体の相談員が悩みごとをお聞きます。

【相談無料】

☎389-7830

なやみゼロ

相談日	相談時間	相談名・内容	担当団体名
毎週 火曜日	10時～15時	悩みごととテレホン相談 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別家庭生活カウンセラーグループ
第2・4 水曜日	10時～14時30分	にこにこ相談室 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別市家庭問題研究会
毎週 木曜日	10時～15時	認知症の悩みごとと相談 ▶ 認知症の悩みごとに関する相談	江別認知症の人の家族を支える会
第1・3・5 金曜日	10時～14時30分	悩みごととテレホン相談 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別市家庭問題研究会

社協の給食サービス

4月～ 1食 550円

夕食(週1回以上)配達します



▼コロナ対策支援金として
公益社団法人札幌東法人会
100,000円

▼事業活動資金として
北海道信用金庫ひまわり財団
100,000円

▼趣旨に賛同して
(株)ふれあいファームのつ
30,000円、フレンドサークル
10,000円、江別友の会 20,000円

一般寄付金

▼会の解散による
江別市立病院OB会 199,470円

▼趣旨に賛同して
匿名 100,000円、
匿名 10,000円

社会福祉基金

令和4年12月1日～令和5年
2月28日(称略・順不同)

善意のご寄付
ありがとうございました

活動保険料(1名あたり)

基本プラン	350円
天災・地震補償プラン	500円
特定感染症重点プラン	550円

補償内容・補償金額はホームページ
(「ふくしの保険」で検索)または社協備
え付けのパンフレットでご確認ください。

【加入対象】 ボランティア活動
に取り組む個人など。
【補償内容】 活動中のボラン
ティア自身のケガ及び他人の物を
壊したり怪我をさせたことによ
る損害賠償責任を補償します。
【補償期間】 加入申込完了翌
日から令和6年3月31日まで
(特定感染症はプラン毎に対象
期間の別の定め有)

ボランティア活動保険
ご案内

※月曜日が祝日の日は、休館しま
す。火曜日曜日は、祝日も開館
しています。

開館日時

月曜日 9時～17時
火曜日 9時～21時

福祉センターからの
お知らせ

紙・事務用品・オフィス家具
OA 機器・学校教材

(有) **ガク**

江別市高砂町 10 番地(市役所横)
電話(代)382-2553・FAX385-7878



令和4年12月～令和5年2月
第3回道社協監査、おもちゃ図書
館クリスマス会、第3回道社協理
事会、第4回道社協行政審議会、
令和5年新年交礼会、第1回道社
行政審議会専門部会、江別市
防災会議・江別市水防協議会合同
会議、江別市社会福祉審議会、第
4回道社協監査、第2回道社協
政審議会専門部会

社協会長
おじゃましました

社会福祉法人 英寿会

『英生塾』
受講生募集!!

「安心・安全・地域と共に」をスローガンに
“頑張る人”を応援致します

●介護職員初任者研修(昼間・夜間通学コース)
●介護福祉士実務者研修(9・11・2月度コース通信課程)

英生塾事務局

〒069-0832

江別市西野幌92番地16

電話 (011) 375-7757

FAX (011) 375-7767

(お気軽にお問い合わせ下さい)

英寿会 事業所

特別養護老人ホーム えぞりすの杜

地域密着型介護老人福祉施設かつこうの杜

ショートステイくまげら

小規模保育施設 ふくろうの森

小規模保育施設 ぞうさんハウス

小規模保育施設 あかとんぼの森

☎887-6333

☎391-9111

☎391-9111

☎398-5568

☎384-2280

☎398-9234

医) 英生会 野幌病院

JR野幌駅前
TEL382-3483

野幌病院 地域医療相談室

TEL 381-2643

介護老人保健施設 老健のつぼろ

TEL 381-1133

老健のつぼろ通所リハビリテーション

TEL 381-1177

在宅介護相談えべつ 英生会ケアプランセンター

TEL 381-8858

訪問看護ステーション のつぼろ

TEL 381-7877

訪問看護科

TEL 381-1193

英生会グループホーム ゆめみの

TEL 391-3119

小規模多機能ホーム ゆめみの

TEL 391-3229

江別第二地域包括支援センター(江別市委託事業)

TEL 389-5420

税の優遇 個人や法人の社協への会費・寄付金及び共同募金寄付金は、法令などで定める要件に該当した場合、法人税・所得税・個人住民税の優遇(軽減)措置があります。

社協会費 社協会費納入者は、年度分をまとめて7月号で掲載します。

ボランティア 掲示板

江別市ボランティア団体連絡会
生活支援体制整備事業

ボランティア会員団体の地域の活動を紹介します

昨年末から今年にかけて話題となったテレビドラマや映画によって、改めて手話に関心を持った方も多いのではないのでしょうか。今回は、江別市内で、手話を学び手話で交流している2つのサークルをご紹介します。

えべつ手話の会

開催日時 夜の部:毎週水曜日 18時30分～20時30分
昼の部:毎週木曜日 10時00分～12時00分
場 所 江別市総合社会福祉センター(錦町14-87)
参加費 年会費3,600円
連絡先 ☎ 387-6184 (代表・三谷 みに)



えべつ手話の会は聞こえない人といつも一緒に活動しているサークルです。幅広い年代の個性豊かな会員が手話を楽しみ学習し、聞こえない人との大切な交流の場となっています。お楽しみ会など会員同士の交流も行っています。

手話は手の動きだけではなく表情で気持ちを伝えるとても豊かな言葉です。コロナ禍でマスク生活が長引いている現状では伝えることが難しく苦勞も多いですが、会員同士で工夫し、江別聴力障害者協会の皆さんの温かい見守りとご協力をいただきながら、毎週楽しく学習しています。

4年前に江別市手話言語条例が施行されましたが、もっと市民の皆様に手話を広め、理解していただく活動が必要と感じています。私達と一緒に「手話に出会い、手話で学びませんか」。まずはお気軽に見学にいらしてください。お待ちしております。

大麻手話の会

開催日時 毎週火曜日 18時45分～20時45分
※コロナ禍のため現在は19時00分～20時00分
場 所 大麻公民館(大麻中町26-7)
参加費 月500円
連絡先 ☎ 090-5952-7100 (代表・武隈 たけくま)



1997年6月に創立、大麻だけでなく野幌・江別地区、当別町から通う会員もいる手話サークルです。聴覚障がい者のコミュニケーション手段のひとつである手話を習得し、会員相互の親睦と融和を図っています。そして、きこえないとはどういうことか、聴覚障がい者の文化と歴史を学び、共に歩んでいくことを目的としています。現在の会員数は29名。毎週火曜日の例会では20代から70代までの幅広い年代の会員が常時20名前後参加し、江別聴力障害者協会の皆様のご協力のもと、いろいろと工夫しながら楽しい雰囲気の中で学習しています。

また、手話の技術の習得だけでなく、地域の中で、言語としての手話の普及と耳のきこえない方々への理解が深まるような活動も続けています。まずは見学からどうぞ！お気軽にご参加下さい！プレゼントを用意してお待ちしております。



編集後記

桃の節句も過ぎ穏やかな春を迎え、異動・転勤、ご家族の卒業や入学、新生活が始まった方も多い中、皆様におかれましては健やかにお過ごしのことと思います。

新年度を迎えるにあたり、江別市社会福祉協議会の令和5年度事業計画と予算、ボランティア団体の地域活動、自治会交流、市内高校生の高齢者施設での福祉体験等を掲載いたしました。

新型コロナウイルス感染症発生から3年におよぶ長かったマスク生活が緩和され、マスク着用は個人の判断に委ねられるまでになりました。

今年こそは、事業・イベント開催、地域の架け橋となって元気に地域を駆け巡り、様々な分野の活動を通して皆様に楽しみにしていただける社協だより「幸せな社会」の発行を目指してまいります。

広報編集委員会委員

工藤 多希子

赤い羽根共同募金は、社協だよりにも役立てられています

